

越谷市

手をつなぐ育成会だより

やまびこ

編集 越谷市手をつなぐ育成会
会長 高野淑恵
〒343-0021 越谷市大林235-9
TEL・FAX 048-977-1908
発行 公益社団法人 埼玉県手をつなぐ育成会
理事長 高野淑恵
〒330-0062 さいたま市浦和区仲町2丁目
4-16 ハウス第五仲町101
TEL 048-833-0444
FAX 048-833-0400
発行日 令和6年9月30日
購読料 20円は会費に含む



『ほとりの福祉』

越谷市手をつなぐ育成会 会長 高野淑恵

平素より「ご支援」「協力戴いております皆様に厚く御礼申し上げます。

今年の夏も猛暑です。毎日、地獄の窓の蓋を開けたような熱波が容赦なく照り続けています。日本は熱帯雨林化しているようです。

日本の美しい春と秋は楽しむ間もなく過ぎ去って、「四季折々の美しさ」という言葉はいつか死語になってしまうのでしょうか…残念ですね。

知的に障害のある息子がまだ幼かった頃、あちこち旅行をしました。京都の哲学の道でははんなりと美しい枝垂れ桜の下を歩きました。福島の「天鏡閣」では、色とりどりの紅葉が、降るように舞い散っていました。

あれらの風景はもう見られなくなってしまうのでしょうか。

日本から離れ、薄れ、消えて行ってしまうのは季節だけではありません。他者を思いやつたり労りあつたりする優しい心も消えてしまいそうですね。改正差別

解消法によって本年から「合理的配慮」が民間事業者にも義務化されました。社会に浸透するまでは途方もなく長い時間が掛かりそうです。哀しいかな、日本は『個人主義』の世の中に変わっています。

人には人の事情があります。誰もが横

一線に同じにはなり得ません。第二次大戦中に国民にそれを強いて、「隣組制度」や「贅沢は敵だ!」などと非人間的で全体主義的なイデオロギーで、国民の命と民主制を殺してしまったことを、決して過去のことと忘れてはなりません。多様性を認めあえない社会に「共生社会」は絶対に訪れないでしょう。

健常者と言われている人の中にも思いがけず「生き辛さ」を抱える人がいます。例えば「起立性調整障害」。これは原因不明ですが、中高生の10%が患っています。朝起きられない、午前中はめまいがする、午後になると何とか動けるようになりますが、周囲には「急け者」とか仮病と言われ、家族にわざ理解してもらえないことがあります。周囲には「急け者」とか仮病

がけず「生き辛さ」を抱える人がいます。例えば「起立性調整障害」。これは原因不明ですが、中高生の10%が患っています。朝起きられない、午前中はめまいがする、午後になると何とか動けるようになりますが、周囲には「急け者」とか仮病

と言われ、家族にわざ理解してもらえないことがあります。治らないものではないので、家族が気長に寄り添つてあげてください。特効薬は親の愛と信頼です。

また、「境界知能」と言われる人が人口の14%もいます。知的障害と言われる知能指数70～75の人と健常者との知能指数70～75の人と健常者との間にはいる人です。つまり知能指数が80～90くらいの人たちです。知的障害でも発達障害でないこの人たちは、家族の支援だけで

必死に生きています。福祉の支援も得られません。なぜこの人たちが知的障害と認められないかというと、それは国の予算、財政の問題で、この14%の人たちを知的障害と認めてしまうと、障害基礎年金やそのほかの福祉予算が倍増してしまうからなのです。就職もできず、お金の計算が苦手なので独りで買い物に行かれません。こういう人たちこそ、地域で支援していかなければならぬと思います。国がもっと本気で、本当の福祉に目覚めるまで。

地域社会の誰もが「本当の多様性」を理解し、お互いに人としての優しい心で接しあえれば、それが本当の福祉ではないでしょうか。

能登半島地震では、赤ちゃんの泣き声がつるさいと言われ、若いお母さんが避難所を出て車中泊をしていました。知的障害児者は、突然の変化、変更を理解できないことが障害特性なので、一般的の避難所に行こうとは思つていませんが、どうか赤ちゃんの泣き声は受け容れてほしいです。災害で誰の心も傷み、傷ついているとしても、その傷を癒してくれるのは、暖かく優しい心のふれあいであります。私は思うのです。

令和六年度もスタートし半年が過ぎました。今年も猛暑！ 酷暑！と毎日考えられない程の暑さでした。そんな中でも、良く食べ、良く寝て、日々、変わらず元気な千草園の皆さんとの三ヶ月をご報告いたします。

越谷市障がい者 交流スポーツ大会開催

七月十八日（木）に市内の事業所七施設が集まり、越谷市総合体育館にて『越谷市障がい者交流スポーツ大会』が開催されました。この大会も今年度で四回目を迎えました。当日は総合体育館の共催、またパラスポーツ指導員の方々のご協力を頂き、楽しい時間を過ごすことが出来ました。借り物競争、パン食い競争、ボール運びリレー、玉入れと四つの競技を行いました。約六十名の参加者が集ま



越谷市議かい者

交流スポーツ大会開催

令和六年度もスタートし半
年が過ぎました。今年も猛暑！
酷暑！と毎日考えられない程
の暑さでした。そんな中でも、
良く食べ、良く寝て、日々、変
わらず元気な千草園の皆さん
の三ヶ月をご報告いたします。

七月二六日（金）の猛暑の中、毎年恒例の『流しそうめんの会』が行われました。当初はおぼつか無かつた流しそうめんも、もう今では上手に掴めるようになりました。（手を使う人もいましたが）それぞれが流しそうめんに果敢に挑む表情は真剣そのもので『こここつ！』と言うときの集中力は素晴らしいものが有りますね。（笑）夏の始まりを告げる楽しいお楽しみ会になつたようです。みんなお腹いっぱい食べて満足そうでした。



A group of approximately 20 people, mostly young adults, are standing on a basketball court. They are holding up a long, light-colored banner with the Japanese text "千草園のファイター" (Chikusen no Faita) printed on it. The banner is held horizontally across their chests. The background shows the wooden floor of the gymnasium and some basketball hoops.

皆で集合写真！

流しそうめんの会
七月お楽しみ会



今年で第十九回目を迎える『千草園 夏まつり』が八月三日（金）に開催されました。

たのしかったね♪



みんな上手に食べてます

内での実施と言うことになりましたが、地域の方々も参加して頂き賑やかなおまつりを実施することが出来ました。利用者の方々は色々な模擬店の前にワクワクした表情を浮かべていました。当日は「焼きそば」「フランクフルト」「ポップコーン」「かき氷」「射的」「輪投げ」が用意され模擬店を楽しみました。(模擬店ではおかわりタイムもありました。)

終わりに

先日、利用者の方で白内障の手術をした方がいました。その方は手術後の病院のベッドから見た月をお母さんに「月が綺麗だつたよ！」と話したそうです。今まではどうんな風に見えていたのだろう？利用者の方の「本当の気持ち」は誰にも分らないけど、人の心に寄り添える人になりたいと思いました。



(中田)

A group of students are performing a traditional Japanese children's dance (Kodomo no Odori) in a classroom setting. They are standing in a line, facing the camera, and moving their arms and legs in a synchronized manner. The background features a whiteboard with colorful drawings and Japanese text, including the words "千草園夏まつり" (Chitose-en Summer Festival). The room has wooden floors and fluorescent lighting.

A group of people in a room, some wearing red and yellow costumes, holding up small lanterns or cameras. A large yellow and red lantern is visible in the background.

そして、今年のアトラクションでは「(ご)っちゃん」のパフォーマンスショーが行われました。マジックあり、大道芸ありの楽しいひと時でした。今回この「夏まつり」にご協力頂きました皆様に御礼申し上げます。「ありがとうございました。」

野の花だより

まだまだ残暑厳しい日が続いております。今年の夏も日差しが強く照りつけて連日、猛烈な暑さとなりました。また進みの遅い台風により、各地に大雨をもたらす等、まさに異常気象。防災上の備えの重要さも実感した夏でした。

今回は、七月から九月までの様子をお伝えしたいと思します。



【障がい者スポーツ交流会】

七月十八日(木)に、越谷市立総合体育館で障がい者交流大会が行われました。前回同様、市内の七事業所が集まり、総勢六十八名の参加になりました。野の花は今年、白組として参加しました。今回の競技は、借り物競争、パン食い競争、ボール運び、玉入れで他施設と協力しながら応援組も含めて、全員

で楽しく盛り上がりました。特に玉入れは真剣で、終了の笛が鳴つても入れようとする程でした。

ご協力頂いた、パラスポーツ指導員の方々、有難うございました。



【夏祭り】



八月二十一日(金)には、野の花内で夏祭りが行われました。午前中は、室内の飾り付けや模擬店の準備をする方と、ポップコーンの準備をする方に分かれての活動となりました。昼のお弁当を食べてからは、いよいよお待ちかねの夏祭りの開始です。祭りの曲がかかたり、ハッピーや輪投げゲームでは、真剣なまなざしで集中力を發揮して、み

る」と景品をゲット。ポップコーンやかき氷、ポテト等を嬉しそうに食べられ、実習生たると一緒に真夏の1日を締めくくりました。



【グループ別外出】



九月一・十日(金)と一十七日(金)には、「グループ」に分かれて野田市にある、清水公園へ出かけました。レストランで昼食の後は、牧場を見学したり、園内をのんびりと散策して過ごしました。



七月十九日には、「出張カット」が行われました。髪の毛を切つてもうじ、そのまますくと鏡をじっと眺めながら笑顔が見られました。その他では、レクリエーションとしてホットケーキを作ったり、ミニジックセラピーを楽しんだりと、皆で元気で過ごしました。

今年も残り三ヶ月。体調に気をつけながら過ごしていきたいと思います。



(高野)

【日々の活動…】

自主製品(ラスク)の販売に「イオノレイクタウン」と「越谷市役所」へ出かけきました。お客様への販売は、利用者さんにとっても良い経験で「つらつらさせ」と元気に声掛けを行つて下さります。



を支援員と一緒に事前に決めて、当日は満足いく形でいました。

会計報告

《 祝金 》 13,000円
社会福祉法人 平徳会 様
社会福祉法人 育樹会 様

《 賛助会費 》 10,000円 (10口)

《 売上金 》
わかめ 7,500円
ごま 5,250円
お茶 3,240円
ご支援ありがとうございます

賛助会員紹介

澤田 裕二 様

よろしくお願ひいたします



ありがとうございました

村上 章雄 様

お米 30kgを
ご寄付いただきました

ありがとうございました 千草園夏まつり



ご協力いただきました皆様
社会福祉法人平徳会 かなめ 様
グループホーム ふわふわ 越谷 様
大きいサイズの店 フォーエル 様
お手伝いいただいたボランティアの皆様



《 編集後記 》

その少女は、10歳位でしょうか。マンションのエレベーターで時々一緒にになります。乗降の際に「ありがとうございます。失礼します。」と、それはそれは明るく丁寧にかつ軽やかに挨拶をします。その都度、今日の自分の挨拶は、この少女のように相手の心に響いていたかと考えさせられます。
(猪鼻 孝子)

野の花ラスク ご購入
ありがとうございます

チーム白川 様
深井 まゆみ 様
鈴木 すみ江 様
工藤 栄理子 様



千草園クッキー ご購入
ありがとうございます

くらしセンターベশみ 様
(株)小林商会 様
中村 甫尚 様
小島 瑞由裡 様
山田 敏子 様
角谷 裕美 様

